

えこびと



「エコットフォーラム 2018」の様子（P3に続く）

P & P 特選句	4月	靴箱に背伸びしてゐる新入生	(智)
	5月	父と子の釣り竿並ぶ端午かな	(虹村)
	6月	どの家も紫陽花咲かす坂の町	(虹村)

* P & Pは俳句や川柳づくりを楽しむeco-Tの利用団体です。

特集 とよたエコ人プロジェクト第10回通常総会を開催

活動報告 エコットフォーラム2018 / 小冊子作成ワークショップのご案内
フォトレポート リユース工房紹介
市民活動団体紹介 NPO 法人豊田・加茂菜の花プロジェクト
エコ人からのお知らせ

この季刊誌は持続可能で豊かな地域社会（エコライフとよた）の実現を目指す
NPO 法人とよたエコ人プロジェクトが発行しています。

特集

とよたエコ人プロジェクト第10回通常総会を開催

7月21日（土）、豊田市環境学習施設 eco-T にて開催。総会に先立ち、eco-T 劇団「めぐり座」の特別公演が、総会に花を添えてくれました。

第1ステージは、劇「三姉妹のお買い物」。買い物で一番大事なリデュースを心がけるよう啓発するエコ劇です。



第2ステージは、「エコクイズ」。

「雑紙は燃やすごみの中に何%入っているか」
「地球の淡水は 2.53% 1人1日トイレに使う水の量は」など、参加者のエコ知識を問うクイズでした。



第3ステージは、「体を鍛えて総会に備えましょう」と銘打った、体を動かしながら脳を鍛えることができる運動です。右手をグーの形に握って胸に当て、同時に左手は前に突き出してパーの形に開く運動です。頭がパニックとなり、スムーズに動きませんでした。



さて、いよいよ総会です。



2017 年度の特筆すべき事業は、「ダンボールコンポスト講座の新規開催による市民のごみ減量意識の高揚」、「豊田市共働事業提案制度への参画」、「eco-T 10周年事業の実施」等、市民参加の活動を市民・行政・NPO の三位一体で実施したこと等です。

また、NPO 法人の組織運営として、「事務所の移転（経費削減）」、「経理業務の税理士委託」等の取組がなされました。

次に、2018 年度の事業計画として、2019 年3月にとよたエコ人プロジェクトが設立 10 周年を迎えることから、「10 周年事業の開催」や「情報発信の強化による、新入会員の獲得」等が提案されました。

総会後の意見交換会では、小学校の先生から、「eco-T の地道な活動により、インタープリターが学校で授業をしていることが普通になってきた」「先生とインタープリターの共働で、出前授業を作り上げていく事ができれば良い」「児童とインタープリターのやり取りで授業が盛り上がる様になればなお良い」等のご意見をいただきました。

また、別の会員からは、「会員が減少している。会員増の努力を」との声がありました。

総会終了後に、理事会にて会員増について議論をし、今後具体策について検討を進めることとしました。（代表理事 横井純夫）

※2014 年度末の会員数 73 名

⇒2017 年度末 37 名（半減）

活動報告 エコットフォーラム 2018 / 小冊子作成ワークショップのご案内

エコットフォーラム 2018～気候変動について学ぼう～（豊田産業文化センター小ホール）

6月23日（土）にエコットフォーラム 2018 を開催し、103名の参加がありました。豊田市から、3月にできた新しい環境基本計画の説明の後、2名の講師による講演がありました。

最初に、桃井 貴子さん（認定NPO 法人気候ネットワーク 東京事務所長）。テーマは「気候変動の最新動向とパリ協定 ～わたしたちにできること～」。そして、山田 修作さん（気象予報士、メ〜テレ<名古屋テレビ>気象キャスター）には「どうなる！？未来の豊田市の天気 ～天気から気候変動を考える～」と題して、クイズを交えながら、台風の成り立ちや地球温暖化による影響などについてお話ししてもらいました。後半の「気候変動にどうそなえる？」というテーマでのトークセッションの中で、山田さんからは「無理なく楽しみながら取り組んでほしい」ということを、参加者へのメッセージとして残してもらいました。（eco-T事務局 長内隆久）



山田修作さんによる講演



トークセッションの様子

★新事業★ リサイクルステーション用小冊子を、みんなのアイデアでつくろう！

昨年度「豊田市共働事業提案制度」の行政テーマ設定型の事業として「リサイクルステーション用の小冊子を作る事業」を提案したところ採択され、今年度行います。

皆さんがいつも利用しているリサイクルステーションで、正しい出し方がわからなかったり、間違っ
て出してしまったために注意を受けたり…といったこと、ありませんか？そういった問題を解決する
ために、私たち市民のアイデアを結集して、便利で見やすい小冊子をつくります。

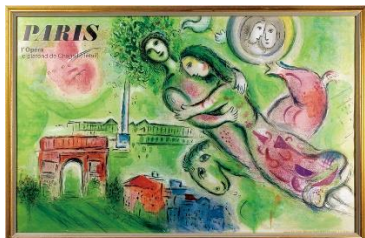
楽しく話しあいながら、アイデア満載のステキな小冊子をつくりましょう！

- 日時 9月20日（木）午後2時～午後4時
10月28日（日）午後2時～午後4時
- 会場 豊田市環境学習施設 eco-T(エコット) 2階 多目的室
- 対象 18歳以上
- 定員 先着30人（会員・非会員問いません）
- 内容 リサイクルステーションで、分別に困っていることや冊子に載せる内容を話し合います。
9月と10月の内容は若干異なりますので、両方出ただけだと嬉しいです！
- 参加 無料 9月5日（水）10時から電話で申込受付開始（0565-26-8058）
広報とよた9月1日号にも掲載されます。



※11月と12月にも1回ずつ開催する予定ですが、日時は未定です。

シャガールの「ロミオとジュリエット」。麻雀台。5mのはしご。木彫りの布袋様。どれも渡刈町にある「リユース工房」で販売されたもので、最近では家具以外の変わり種もあります。



リユース工房とは、家庭から粗大ごみとして出された家具などを修繕し、リユース（再使用）家具として入札方式で販売している施設です。

主な目的は、物を大事に長く使う意識の啓発、ごみの減量や再使用など理解を深めることです。

6年目を迎えるこの施設は、年間600点以上を出品し、毎月平均して250件以上の入札があります。

主に家具類が中心ですが、先に書いたように絵画などの変わったものもあります。本物かというより『おもしろい』という感覚で入札される方が多いようです。最近では、大きな家具より小さな家具、ごみ箱や脚立、ベンチなどが人気です。

お客様の中には、「断捨離しなくちゃいけないのに入札したくなっちゃう」と話されます。

◆行ってみよう！リユース工房◆

開館日： 日・火・木曜日 10時～15時

展示・入札期間： 毎月第3木曜の正午まで

開札日： 毎月第3木曜日の午後

毎月50点展示してあり、最低価格が表示してあるので、自分で金額を決めて入札します。一番高い金額を書いた人が落札できます。

豊田市のHP にリストが公開されています。

豊田市 リユース工房

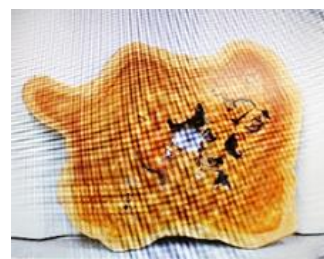
検索

<問合せ> 0565-42-6010

◆落札された家具たち◆

落札された家具のその後を知りたいと思っていたところ、見に来てても良いということでお客様の新築のお宅にお邪魔させていただきました。その方は、古い家具が好きで茶ダンスや文机などいろいろなものを落札されていました。

玄関を開けると、まず「式台」に見覚えがありました。式台とは、玄関の段差を解消するための踏み台のことです。でも、それは「つい立」として落札されたものでした。木の節の穴には漆喰とビー玉が埋めてあり、その発想に感激しました。また、トイレの手洗い場の台も落札した「天然木」の一部を使っていました。



(加工した台に手作りの陶器)

(落札された天然木)



建具などは、以前のお住まいのものを使い、こだわりの持ち集めたものが活かされていました。和室にも見覚えのある茶ダンスと文机がありました。

家具にとって第二の人生です。一度は捨てられてしまった家具ですが、リユース工房に届けられ、修繕されて生まれ変わり、新たな持ち主のところで幸せに暮らしているところを見て、本当にうれしくなりました。

(リユース工房 赤坂洋子)

今年度から市内で活動しているNPO 法人の団体を紹介します。第1回目は豊田・加茂地区で菜の花を通して資源循環型の活動をしている菜の花プロジェクトです。NPO 法人豊田・加茂菜の花プロジェクトは資源循環型社会の地域づくりと、地域自立の豊かなまちづくりをめざし、遊休地・休耕地を再生することで地域農業の活性化を目指し、具体的には「健康な土地づくり」「遊休地・休耕地を花いっぱい」「地産地消」「学習会」「交流会」「広報」活動を展開しています。



代表
梅谷勝利氏

活動の三本柱として①バイオマス資源の循環・利用促進 ②遊休農地の有効利用活用 ③地域活動があります。

●資源循環サイクルとは具体的にどんな活動ですか？



休耕地に菜の花を植える。花を楽しむ。菜の花を食す。菜種を搾油して菜種油を商品化。搾りかすは肥料だけでなく醤油として活用できます。菜種油は1番搾りのみを食用にし、廃食油は耕運機の燃料として活用します。

●活動のきっかけは？

きっかけは県内で広がっていた「花いっぱい運動」を知り、休耕地をひまわりや菜の花でいっぱいしようということから始まりました。平成15年遊休地を地権者から借り受けて始まりました。平成17年、菜の花栽培は広がりを見せ、安定した搾油が可能となり「豊田・加茂なのはな油」を搾油業界と共に商品化しました。折しも持続可能な社会をめざして開催された「愛・地球博」が、活動にさらに拍車を掛けるきっかけになり、同年3月「豊田・加茂菜の花プロジェクト」の設立総会にこぎつけました。その後、さらに活動の拡大を目指して平成19年にNPO 法人の認証を取得。今日につながっています。

●現在の活動は？

この活動から「なのはな農園」が設立されました。現在約50haの農地を管理。菜種の生産量は約15tまでになりました。現在100名を超える会員を有し、活発な活動が展開されています。

●その他の活動にはどんなことがありますか？

地域との交流や学習会の開催をしています。崇化館・猿投台中学校で菜の花を通じた環境学習を実施しています。両校合わせて今年で12年目になります。植付けから卒業式・入学式には花飾りをし、菜の花を使った料理、廃油活用の石鹸づくり、燃料活用（バイオディーゼル燃料）の耕運機を動かすなど、体験を重視した学習を試行錯誤しながら継続しています。



石鹸作りを体験する中学

●菜の花プロジェクトとしての今後のビジョンは？

「みんなで守ろう 子供達の未来」がキャッチコピーの通り、子どもたちが環境について学び、身近なことから環境に配慮できる生活（行動）ができるようになって欲しいと考えています。今後、子どもたちの置かれている地球環境がどうなるのか、具体的にわかるような学習ができるといいです。

エコ人からのお知らせ

スタッフに聞いた！ 私のエコ行動！

こはらけいこ
■小原桂子さん

小原さんは、パートスタッフとしてさまざまな業務のサポートをされています。

今回はそんな小原さんが行っているエコ行動について聞いてみました。

私のエコ活動は「なるべく自転車に乗る」です。乗り始めたきっかけは、eco-Tに勤め始めた時、渋滞や駐車場から歩く距離を考えると、家からの通勤時間は自転車も車も同じかもと思ったことです。実際の通勤時間は少し増えましたが、給油回数は減り、車では見逃していた景色が楽しめ、肩こりが少し楽になりました。自転車は、エコ、節約、健康の“一石三鳥”だと思います。みなさんも無理のない範囲で是非トライしてみてください！



新規会員募集中！

『楽しい&エコ』なくらし、一緒にはじめましょ♪

とよたエコ人プロジェクトの 会員になりませんか？

【会費】

正会員	10,000円（議決権あり）	
賛助会員	一般	1000円/□
	学生	500円/□
	非営利団体	3000円/□
	営利団体	10000円/□

*エコ人の年度は6月～5月です。

【会員特典】

- ・季刊誌「えこびと」を年4回お届けします。
- ・会員メーリングリストに登録できます。講座やイベント、世の中のエコ情報が届きます（不定期）。
- ・e-cafeのコーヒーチケット3枚プレゼント！フェアトレードのコーヒーを飲みながらお話ししましょう。

毎週木曜日に eco-T で開催しています。

*入会をご希望の方は下記連絡先まで！

編集後記

今年も無事とよたエコ人プロジェクトの総会が終わりました。この1年で新しい会員の方も増え、eco-T・とよたエコ人プロジェクト共に新しい事業にも取り組むことができました。また1年間色々な取り組みをしていきますので、ぜひ皆様のお力を貸してください。よろしくお願いいたします。

(eco-T事務局 住田雄佑)

発行・編集 NPO 法人 とよた^{びと}エコ人プロジェクト

〒471-0034 豊田市小坂本町六丁目5番地2 シティハウス NAGASAKI 43 107号

メール：info@t-ecobito.jp

当法人ホームページ：http://t-ecobito.jp/

eco-T ホームページ：http://www.eco-toyota.com/

eco-T Facebook ページ：https://www.facebook.com/ecotoyota/



当法人
ホームページ



eco-T
ホームページ



eco-T
Facebook ページ